

# 議 事 録

令和6年度 第2回北栄町地域福祉推進計画推進委員会	
日 時	令和6年12月19日(木) 14時00分～17時00分
場 所	北栄町農村環境改善センター 2階 大会議室
出席者 (委員)	長曾我部・山本・中原・森田・村岡・松村・中井・遠藤・田村・向井・田中・ (行政)前田健康推進課長・松本教育総務課長・渡辺生涯学習課長
(事務局)	(町)小澤福祉課長・杉川室長・池田センター長・松嶋室長・菱井室長 (社協)金山局長・前田係長・柴山主任

## ○主な意見を抜粋したもの

1：開 会	司会／進行：小澤福祉課長 ※向井さとみ新委員の紹介、委員各自の自己紹介	説明・意見者
2：委員長選出	長曾我部委員長・山本副委員長が選出され拍手により承認	
3：あいさつ		長曾我部委員長
4：議 事	※これ以降の司会は、長曾我部委員長	
(1) 北栄町地域福祉推進計画の改定に係る協議について		事務局：菱井
それぞれの計画改定の概要について説明し、ご意見ご質問をいただいた。		
○用語集が分かりやすく大変良かった。		遠藤委員
○これまで社協と別々だった進捗状況の報告が簡単になると思ってよいか。		長曾我部委員長
⇒計画内容についてはこれまで通り別々になるが、状況報告についてはおっしゃる通りである。		事務局：菱井
○計画の肝となるのが資料9ページからの「基本施策」である。問題点や課題、今後の取り組みなどを記載している。 ※内容について説明		事務局：菱井
○「アウトリーチ事業」について 職員が根気強く関わり続けてくれたお陰で、引きこもりの人がにじいろカフェに継続して参加できるようになり嬉しかった。これからも協力してがんばりたい。		田中委員
○「住民・地域の取り組み」について 目標がたくさんあり過ぎて、自治会ですべての目標に取り組むのは難しいと思うが、自治会への伝え方はどう考えているのか。		遠藤委員
⇒まずは計画を周知することが大切だと思っている。来年度は周知用のパンフレット作成の予算要求をしているので、それで周知をしていきたい。		福祉課長：小澤
○「地域の人からの声」について 住民アンケートや団体ヒアリング、委員の意見等が含まれていると明記した方がよい。		長曾我部委員長

<p>○「具体的な取り組み」について 抽象的で、どのようにするかが抜けている。具体策が明記されていないと、次年度以降でも、これまでに委員から出た質問や意見と重複するのではないかと危惧している。</p>	
<p>⇒資料4ページに、住民アンケートの詳細とヒアリングした団体・機関名を明記しているので、このアンケートと各関係機関へのヒアリングから出た意見と いうことを記載するようにします。 また、資料42ページの第8章の「計画の進捗にあたって」のところに、`年度ごとに取り組み目標を定め、と記載しており、毎年、具体的な取り組みを定め取り組んでいくようにします。</p>	<p>福祉課長：小澤</p>
<p>○住民・地域の取り組みについて 「福祉の情報を適切に共有しましょう」とあるが、個人情報保護の観点から `適切に共有、をどうとらえるのが難しい。具体的に伝えてほしい。</p>	<p>山本委員</p>
<p>○住民・地域の取り組みについて 取り組み内容が全て「~しましょう」で終わっている。これでは誰に向けて言っているのか分からない。最初に `この計画は全町民を対象にしている、ことを明記してはどうか。 ※賛成意見あり</p>	<p>中井委員</p>
<p>⇒地域福祉は、行政や社協だけではできないので、全町民で取り組んでいきましょう、みんなで助け合っていくいきましょうというのが大きな目標で、この住民というのうは全町民で取り組んでいきましょうという思いです。先程も言いましたが、来年度はパンフレットを作成する予定であり、そのことがわかっても らえるようなパンフレットを作成したい。また、自治会長会でも説明します。</p>	<p>福祉課長：小澤</p>
<p>○災害時の連携の強化について 人権学習会のように、支え愛連絡会も各自治会で必ず開催するようにできない だろうか。</p>	<p>山本委員</p>
<p>○災害時の連携の強化について 町や社協の取り組みで「推進します」「広めます」とあるが、対象者が記載されて いないので誰に対してなのかが分かりにくい。見た人が、自分のことだと思 えるような記載にした方がよい。</p>	<p>長曾我部委員長</p>
<p>○災害時の連携の強化について 人権学習会は年間計画できちんとしている。「支え愛マップ」作成についても同 様のシステムが構築できたらよいと思うので、自治会長会等で説明してはどうか。</p>	<p>森田委員</p>
<p>⇒「支え愛マップ」は全自治会で作成されることを目標としている。63自治 会中22自治会が作成済みであり、今年度は、新規で3自治会、更新で1自治会 に取り組んでいただいた。少しずつではあるが取り組みが進んできていると感 じている。大規模災害に備えるため、全自治会で作成してもらえよう推進し ていきたい。また、「支え愛マップ」については、今年7月の自治会長会で山本 委員（緑ヶ丘団地自治会長）を講師に、勉強会を開催したところであります。</p>	<p>福祉課長：小澤</p>

(2) 中央公民館大栄分館の建替に係る意見聴取について	中央公民館長：松尾
<p>○福祉的な観点からのご意見をいただきたい。</p> <p>○住民側から公民館の使い方を提案するのもよいと思う。</p>	長曾我部委員長
<p>○バリアフリーの観点から</p> <p>□エレベーターについて 停電時は使用できないので、2階にスロープを設置してはどうか。</p> <p>□駐車場について 入口から駐車場まで遠いのではないか。</p>	山本委員
<p>⇒エレベーターについて スロープはかなりの面積が必要になるが、駐車場をつぶしてまで設置する必要があるかどうか。また、今のエレベーターは停電時でもフロアで止まる設計になっているので、利用者の安全は保たれると思う。</p> <p>⇒駐車場について 入口4ヶ所中の2ヶ所を駐車場に隣接させる。駐車場から入口までは庇を設けたアプローチロードとする。また、体育館前の駐車場も、今同様使っていただける。</p>	中央公民館長：松尾
<p>○避難所として使用する場合について 医療的ケアが必要な人が避難する際は停電時の発電機等が必要になるが、そのようなことを念頭に置いた電源配置になっているか。</p> <p>また「避難所」ではなく「一次避難所」と言われたが、そのような方も受け入れる施設であればよいと思った。</p>	中井委員
<p>⇒地域防災計画に基づく福祉避難所としての受け入れではなく一般の避難所ではあるが、太陽光発電を備えた施設で、更に蓄電器の設置も検討している。災害時にも対応できる施設にしたい。</p>	中央公民館長：松尾
<p>○日常の公民館活動での会議室等の回転率はどの程度なのか。それによって部屋数や階数等も検討すべきではないか。</p>	田村委員
<p>⇒大栄分館の利用者数は、令和4年度は18,000人、令和5年度は21,000人であった。これまで関係各所と何度も協議を重ね、活動スペース等についても意見を出し合った結果、人数に応じて活用できるよう可動式にした。</p>	中央公民館長：松尾
4：連絡事項	
<p>○次回委員会について 3月中旬開催で、内容は令和6年度計画の進捗管理とパブリックコメント検討の予定である。推進計画については、今日のご意見を参考にしながら修正したものを次回配布する。</p>	事務局：菱井
5：閉 会	長曾我部委員長